

2024年5月5日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**  
第67巻第6号(通算3388号)  
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう  
**週報**

教会標語

小さくされている人を  
大切にする教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

イエスは言われた。「私が復活であり、命である。

私に信頼して歩む人は、たとえ死んでいても生きる」(ヨハネによる福音書11:25)

復活節 第6主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

前奏(黙祷)

AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

招きの詞

詩編

8編 2-3節

賛美歌

21-493番

「いつくしみ深い」(©日本基督教団出版局)

聖書

ヨハネによる福音書

16章 25-33節

お祈り

賛美歌

『こどもさんびか改訂版』131番「かなしいことがあっても」(©生地善人)

メッセージ 「あなたは独りではない」

牛田 匡 牧師

賛美歌

21-452番

「神は私を救い出された」(©JASRAC)

聖餐

牛田 匡 牧師

共同のお祈りと、平和のあいさつ

賛美歌

21-524番

「われらみ名により」(©著作権消滅)

主の祈り

献げ物(\*)

派遣

21-91番

「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

祝福

牛田 匡 牧師

後奏

アーメン コーラス (21-40-6番)(©教団讃美歌委員会)

報告

(4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\*受付に献金箱がございます。

「献げ物(献金)」はご用意のある方のみ、お献げください。

<sup>2</sup>主よ、我らの主よ

御名は全地でいかに力強いことか。

あなたは天上の威厳を <sup>a</sup>この地上に <sup>b</sup>置き

<sup>3</sup>幼子と乳飲み子の口によって <sup>とりで</sup>砦を築かれた。

敵対する者に備え

敵と報復する者を鎮めるために。

(脚注 a: 直訳「そこに」、b: シリア語訳による。ヘブル語原典では「置け」)

聖書 ヨハネによる福音書 16章 25-33節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

<sup>25</sup>「私はこれらのことを、たとえを用いて話してきた。もはやたとえによらず、はっきり父について知らせる時が来る。<sup>26</sup>その日には、あなたがたは私の名によって願うことになる。私があるがたのために父に願ってあげよう、とは言わない。

<sup>27</sup>父ご自身が、あなたがたを愛しておられるのである。あなたがたが、私を愛し、私が <sup>c</sup>神のもとから出て来たことを信じたからである。<sup>28</sup>私は父のもとから出て、世に来たが、今、世を去って、父のもとに行く。」

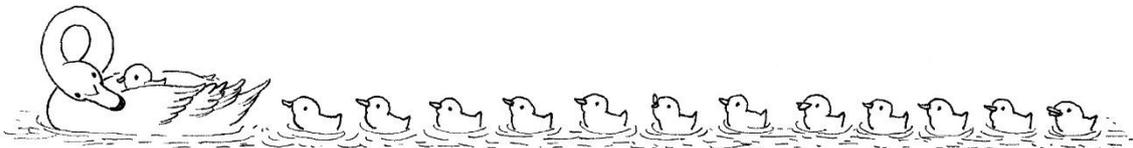
<sup>29</sup>弟子たちは言った。

「今は、はっきりとお話しになり、少しもたとえを用いられません。<sup>30</sup>あなたがすべてのことをご存じで、誰にも尋ねられる必要がないことが、今、分かりました。これで、あなたが神のもとから来られたと、私たちは信じます。」

<sup>31</sup>イエスはお答えになった。

「今、信じると言うのか。<sup>32</sup>見よ、あなたがたが散らされて、自分の家に帰ってしまい、私を独りきりにする時が来る。いや、すでに来ている。しかし、私は独りではない。父が、共にいてくださるからだ。<sup>33</sup>これらのことを話したのは、あなたがたが私によって平和を得るためである。あなたがたには世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。私はすでに世に勝っている。」

(脚注 c: 異本では「父」)



## 《先週のメッセージより》4月28日 復活節第5主日礼拝

「霊と肉、理性と本能」より

水谷憲牧師

聖書 ガラテヤの信徒への手紙 5章16-26節

この手紙は、パウロの教えに反する者によってすっかり惑わされていた人々にあてて書かれた。「割礼などなくともイエス・キリストに結ばれてさえいれば、ユダヤ人でなくとも救いにあずかれるのだ」と教えていたのに、自分がいなくなった途端に反対者に惑わされ、互いにいがみ合いまで起こしたりしている。「お前たちは一体何を聞いたんか、もう一回説明するけどもやな」とパウロは怒りを隠しきれないままに書いている。「私と逆のことを教えるような奴は、天使だろうが呪われてしまえ」と。めちゃくちゃ怒っている。

そして本日の箇所。「あなた方は洗礼によって、律法という鎖からの自由を与えられたのだから、その自由を、自分の好き勝手ではなく、霊の導きに従った自由とせよ」というもの。そして、「避けるべき肉の業」を行う者は神の国を受け継ぐことはできない、霊に導かれて歩む中で「霊の結ぶ実」を結ぶことができるならば、そもそもそこに律法など必要ないのだという。しかし「肉の業」に列挙された事柄に共通するものは何か、「霊の結ぶ実」とされている事柄に共通するものは何かを考えずに、ただこれらのことだけを避け、また実行できればよいとしてしまっただけではいけない。

パウロの挙げる「肉の業」はいずれも、神と人・人と人との関係を破壊し、隣人の存在を切り捨て、尊厳を踏みにじり、傷つける行為ではないのか。反対に「霊の結ぶ実」とは、神と人・人と人との関係を回復し、つなぎとめ、人をかけがえのない存在として大切にしていける行為を意味しているのではないか。キリストは、商売の家と化していた神殿をひっくり返したり、安息日に手のなえた人を見ながら放っていたりした人々に対して怒った。そのような不義に対する怒りまで、パウロの言う肉の業と同じものと見るべきではない。私たちは、見えないところで痛む人にこそ目を留めたイエスの視点を持つことなしに「私は救われた、肉を欲情や欲望もろとも十字架につけた」などと簡単に言って、まやかしの平和を喜び、それに対する怒りまでも肉の業として禁じるような者とならぬため、いつもイエスを思い浮かべ、イエスならどうされたかと想像しながら、肉の業と霊の結ぶ実とを注意深く吟味しながら日々を過ごしていきたい。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 4月28日 復活節第5主日礼拝

礼拝出席 大人7名 子ども2名

献金 大人5,000円 中継視聴者数5回 感謝

礼拝後に、釜ヶ崎支援のために「おにぎり」を192個作り、いこい食堂にお届けしました。整理券の配付時間前から長蛇の列が出来ていて166人以上の方々に、西成警察署裏の四角公園にてお配りさせて頂きました。どうもありがとうございました。

◎次週 2024年5月12日(日) 家族の日礼拝(復活節第7主日) 礼拝

招きの詞 詩編 46編 2-4節

聖書 列王記 下 2章 1-15節

メッセージ 「独り立ちの準備」水谷憲牧師

賛美歌 21-8(©讚美歌委員会)、21-336(©讚美歌委員会)、21-96(©JASRAC)

◎お知らせ

- ・本日、礼拝後から5月期の「教会を考える会」をいたします。
- ・5月12日(日) 15時~17時にかけて、大阪クリスチャンセンターにて、大阪教区社会委員会主催講演会「〈10.7〉ガザ蜂起とイスラエルのガザ侵攻の本質はどこにあるのか? ハマス台頭とシオニズムの文脈を追う」が開催されます。講師は早尾貴紀さん(東京経済大学教授)で、参加費は無料です。会場での対面参加の他、ZOOMを利用したオンライン参加も可能です。ZOOMでの参加をご希望の方は5月10日(金)までに、[kazuyuzu.tigers@gmail.com](mailto:kazuyuzu.tigers@gmail.com)まで、お申込みください。
- ・5月18日(土) 新町北公園にて、「ラファ攻撃やめろ!」御堂筋デモがあります。主催は関西ガザ緊急アクションです。14時~15時にかけて公園にて集会があり、15時10分から難波までデモがあります。1948年5月15日のイスラエル建国に伴い、400以上のパレスチナ人の村が強制退去の対象となり、各地で虐殺が起きた真実を語り継ぐため、毎年5月15日はアラビア語で「大災厄」を意味する「ナクバ」の日として記憶されています。その76年目の今、世界と連帯して抗議のデモ行進をしよう。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
5/12	水谷憲牧師	家族の日礼拝 (第二好意の庭・感謝祝福式)
5/19	牛田匡牧師	ペンテコステ礼拝 おにぎり支援
5/26	水谷憲牧師	誕生者祝福式
6/2	牛田匡牧師	ユークリフト 教会を考える会

5.18 (土) パレスチナ人に帰還権を!

ラファ攻撃やめろ!

御堂筋をデモしよう!

■5月18日(土)  
場所: 新町北公園 ※下地図  
(地下鉄本町駅②出口)  
14:00-15:00集会  
Swing Masa/詩の朗読  
(手話通訳・UDトークあり)  
15:10デモ出発~ナンバまで

1948年5月15日のイスラエル建国に伴い、400以上のパレスチナ人の村が強制退去の対象となり、各地で虐殺が起きた事実を語り継ぐため、毎年5月15日はアラビア語で大災厄を意味する「ナクバ」の日として記憶されています。その76年目の今、世界と連帯して抗議のデモ行進をしよう!

集合参加者の皆さんには、以下のグラウンドルール設定にご協力願います。  
●あらゆる差別やハラスメント行為を容認しません。外見や行動などで他人の属性を決めつけないようにしましょう。  
●アクションの中では禁煙をお願いします。●個々の判断となりますが、マスク着用にご配慮しましょう。  
●困ったことがあれば赤いリボンを付けたスタッフに相談しましょう。●撮影禁止エリアを設けています。撮影者は撮影時に配慮しましょう。

主催: 関西ガザ緊急アクション  
<https://kansai-gaza-jimdosite.com/>

問い合わせ先:  
[kansai-gaza@gmail.com](mailto:kansai-gaza@gmail.com)